



大木 恵

4年

大木 恵さん



※気持ちよくかけ
たと思います。
「春」の字が少
しむずかしいけ
どがんばりまし
た。



1年

志田真里子さん



※ふでが太いので
「う」のまるめ
るところが、と
てもむずかしか
ったです。

木枯しの真夜に駆け込む救急医

布施 和代 (二又)

真夜の救急車、中七以下の
措辞が作者の衝撃を活写して
いる

短評 椎名しげる

空風に妙義の岩のそぎ立てり

秋山 一泉 (野栄町)

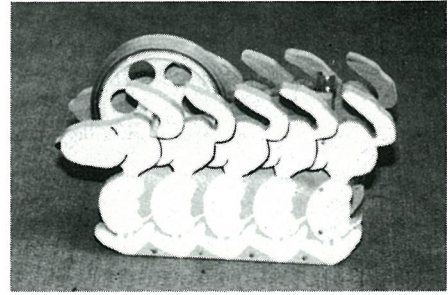
奇岩、怪石と紅葉で名高い
妙義山。結句が盤石の座り

※スヌーピーの耳のこ
ろを糸ノコで切るのが
難しかったです。身
近において大切に使い
たいと思います。



6年

村越奈津江さん



『テープカッター』

※ごんべえが空から落ち
るようすがおもしろか
ったのでかきました。



2年

林 香織さん



『かもとりごんべえ』

元朝や男厨の惑ひ声

鈴木 都根 (橋場)

ひごろ謹厳寡黙な御主人の
年始めの善政も勝手が違った

茶の温み掌のうちにある去年今年

椎名 静子 (二又)

行く年来る年の間の一刻、
お茶の温もりが感慨を深める

賀状来て思ひ出す程疎音かな

大木静波子 (篠本二区)

句意共感。疎音そいんが疎遠そえんかで
物議を醸したが原句に従った

ひかり俳壇